	事業番号	3694	担当課等			土木課	
ſ	事務事業名	急傾斜地崩壊	付策事業	-			
ſ	予算科目コード	会計 1	款 7 項	2 目	1	事業開始年度	平成15年度

## 1 事業概要(令和6年度)

総合計画との関係	基本	目標	政	策	分 野	主	要施 策	細が	施 策
ゆがわら2021 プラン 前 期 基 本 計 画	照季彩と暮 和した安全 ちづくり	らしが調	Ⅲ 安全·安心	の実現	1 坊災•危機管	理 防災対	(1) 策の推進	<ul><li>⑧土砂災害</li><li>策の強化及業の推進</li></ul>	手・洪水対 及び改良事
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5シ゛ェンタ゛ー	6水•衛生	7エネルキ゛ー	8経済成長と雇用	9インフラ等 〇
SDGsCV房庄	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	神奈川県	よが実施す	る急傾余	地崩壊落	対策事業費	の一部を	を負担する	<b>らも</b> の。	
対象町民及び土地所有者									
内 容 急傾斜地崩壊対策工事(法面工など)									

		区 分	令和5年度(決算)	令和6年	度(決算)	令和7年	度(見込)	
		事業費	5,995,575		6,012,751	20,158,000		
	人	常勤職員	723,200		731,800	1,531,200		
<u>`</u>	件	会計年度任用職員等						
	費	人件費合計	723,200		731,800		1,531,200	
		総事業費	6,718,775		6,744,551		21,689,200	
		国庫支出金						
  財		県支出金						
源		地方債	2,700,000			12,400,000		
内		その他特定財源						
訳		一般財源	4,018,775		6,744,551		9,289,200	
		財源合計	6,718,775		6,744,551		21,689,200	
		活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値	
対	象領	<b>適所数</b>	急傾斜地崩壊対策	地区	2	2	2	
					0	0	0	
		成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	単位 令和5年度		目標値	
急	傾斜	料地崩壊対策負担金	負担金額	千円	千円 5995		20158	
					0	0	0	

1-16-120-	140千度よどの事業が研及の政告点								
評価 5段階	評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)								
必要性	町が実施する必要があるのか	5	急傾斜地崩壊対策工事は、一定の要件を満たす場合は、県が工事実施することができ、その費用の一部について町で負担する。						
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果 が得られているか 他事業との類似はないか		急傾斜地崩壊対策工事を行うことにより、災害による 町民の危険を排除することができる。						
有 効 性	事業の目的に対して成果が得 られているか		急傾斜地崩壊対策工事を行うことにより、町民の災 害に対する安全性が向上する。						
公平性	事業の目的に対して受益の機 会が均等か		事業実施箇所が、急傾斜地崩壊危険箇所に指定さ れた区域に限られる。						

令和6年度までの 自己評価または 改善点
----------------------------

### 4 見直し及び改善

評価 4区分とその	理由を記え	l(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)
委託・指定管理 導入の可能性	9	県と事業について調整を行い、引き続き実施していく。
	1	
令和7年度の見直し 及び改善予定	特になし	
令和8年度以降の 方向性	中地区の 所(吉浜	では2箇所(宮上道中・福浦)の事業を進めているが、令和6年度に宮上道整備が完了したため、新たな危険箇所の指定について令和7年度に1箇一本松)調整を実施している。引き続き町内の急傾斜地崩壊対策事業の推れるよう、県及び地元と調整を行う。

5 一次評価(令和8年度以降の方向性に対する評価)

Ξ.	7 141 1H 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		-
	総合評価	継続(現状維持)	町民の安全を守るため県と連携し、事業を継続し ていくこと。 

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

WIN THE TEXT PLANTS OF THE PROPERTY OF THE PRO

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価 継続(現状維持) 一次評価と同様

事業番号 79					)	担	当課	等				土木課
事	務事	業	名	河川改修	事業							
予算	[科目	□ .	ード	会計	1	款	7	項	3	目	1	事 業 開 始 年 度

## 1 事業概要(令和6年度)

総合計画との関係	基本	目 標	政	策	分 野	主	更施 策	細力	施 策
ゆがわら2021 プラン 前 期 基 本 計 画	四季彩と暮	3 らしが調 ∶•安心のま	Ⅲ 安全·安心	の実現	1 治山•治水	治水事	(2) 業の推進	②河川•水	路の整備
関連する個別計画									
	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水•衛生	7エネルキ゛ー	8経済成長と雇用	9インフラ等
SDGsとの関連									
のかは3とりが反圧	10不平等	11都市	12生産と消費		動 14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		0		0					
目的					、大規模なf と水害から		要とする簡	節所につい	て改修
対象町民及び土地所有者									
内容大規模な維持修繕工事									

		区 分	令和5年度(決算)	令和6年	度(決算)	令和7年	度(見込)	
		事業費	9,828,500		9,990,200	2,000,000		
	人	常勤職員	2,892,800		2,927,200	2,296,800		
<u>`</u>	件	会計年度任用職員等						
	費	人件費合計	2,892,800		2,927,200		2,296,800	
		総事業費	12,721,300		12,917,400		4,296,800	
		国庫支出金						
  財		県支出金						
源		地方債						
内		その他特定財源						
訳		一般財源	12,721,300		12,917,400		4,296,800	
		財源合計	12,721,300		12,917,400		4,296,800	
		活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値	
工	事計	<b>青負費</b>	水路改修工事	千円	9828	9990	2000	
					0	0	0	
		成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値	
工	事領	<b></b>	工事箇所数	箇所	箇所 3		1	
					0	0	0	

1-16-120-	「福の一及のでの事業が研究の収音派							
評価 5段階	評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)							
必要性	町が実施する必要があるのか		水路等は町の施設であり、維持管理を怠ると水害に より町民生活を脅かす危険性がある。					
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果 が得られているか 他事業との類似はないか		改修工事を実施することにより、水害を防止し安全 性の向上が図られる。					
有 効 性	事業の目的に対して成果が得 られているか		改修工事を実施することにより、水害を防止し安全 性の向上が図られる。					
公平性	事業の目的に対して受益の機 会が均等か		改修箇所は、町内全域を対象としているが、危険性 の高い水路を優先するため、多少偏る傾向がある。					

令和6年度までの 自己評価または 改善点	危険性の高い水路の改修を実施した。
----------------------------	-------------------

### 4 見直し及び改善

評価 4区分とその3	理由を記え	人(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)					
委託・指定管理 導入の可能性	9 改修が必要な箇所について、引き続き実施していく。						
	1						
令和7年度の見直し 及び改善予定	改修の必	改修の必要な箇所を再調査し、計画的な改修を行う。					
令和8年度以降の 方向性	水路の良好な状態を保つため、定期的に点検を行い、改修計画を立案し、改修工事を行っていく。						

5 一次評価(令和8年度以降の方向性に対する評価)

|--|

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価 継続(現状維持) 一次評価と同様

令和7年9月3日

事業番・	号 728	担当課等		土木課		
事務事業	事務事業名 交通安全施設整備事業					
予算科目コー	-ド 会計	1 款 2 項	1   8	事業開始年度		

## 1 事業概要(令和6年度)

総合計画との関係	基本	目標	政	策	分 野	主	要施 策	細が	施 策
ゆがわら2021 プラン 前 期 基 本 計 画	四季彩と暮	3 らしが調 :・安心のま	Ⅲ 安全·安心	の実現しな	1 逐通安全	交通安 充実	(1) 全対策の	①交通安全 道の整備	全施設や歩
関連する個別計画									
	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5シェンダー	6水•衛生	7エネルキー	8経済成長と雇用	9インフラ等
SDGsとの関連									-1
00 d0 C 07   N / E	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		0							
目的	関係機関	関係機関との連携を図りながら、効果的な交通安全施設整備を行う。							
対象	町民、観光客等								
内容	カーブミ	カーブミラーや道路標示等を整備し、町民や観光客等の交通安全の確保を図る。							

		区 分	令和5年度(決算)	令和6年	度(決算)	令和7年度(見込)		
		事業費	2,974,400		2,764,300		3,000,000	
	人	常勤職員	2,892,800		2,927,200		3,062,400	
<u>`</u>	件	会計年度任用職員等						
	費	人件費合計	2,892,800		2,927,200		3,062,400	
		総事業費	5,867,200		5,691,500		6,062,400	
		国庫支出金						
  財		県支出金						
源		地方債						
内			2,696,000		2,713,000		3,000,000	
訳		一般財源	3,171,200	2,978,500		2,978,500 3,062,4		
		財源合計	5,867,200		5,691,500		6,062,400	
		活動指標	指標設定の理由・考えた	単位	令和5年度	令和6年度	目標値	
区	画	泉整備数	施設整備	箇所	5	10	3	
カーブミラー設置数		ブミラー設置数	施設整備	箇所	箇所 0		2	
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値	
町	内の	交通人身事故件数(1~12月)	交通人身事故の減少	件	72	45	0	
					0	0	0	

- 1. 14 -	ける一人などのサネガが次の収合派						
評価	評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)						
必要	性	町が実施する必要があるのか		区画線やカーブミラー等の交通安全施設は道路利 用者の安全を確保するためのもので、その設備・維 持管理は道路管理者の町が実施すべき事業。			
効 率 類 似		投入した費用に見合った効果 が得られているか 他事業との類似はないか		危険な通学路を重点に施設整備、維持管理を実施 して費用に見合った効果が得られている。また、舗 装等の整備事業との連携を効率的に図っている。			
有効	性	事業の目的に対して成果が得 られているか		地域、道路利用者及び学校関係者等からの要望・ 意見を参考に整備を実施しており、交通安全確保に 一定の成果が得られている。			
公 平	性	事業の目的に対して受益の機 会が均等か		運転者や歩行者など道路利用者を対象とした事業 であり、受益の機会は均等である。			

改

令和6年度までの 歩行者の危険を回避するため、区画線等の路面標示やカーブミラーの整備を行い、 自己評価または運転者の危険を回避するため、カーブミラーや注意喚起看板の設置及び維持管理 を行った。

### 4 見直し及び改善

評価 4区分とその	理由を記。	入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理 導入の可能性	3	交通安全施設の設置及び維持管理は、道路管理者の町が直接実施すべき事業である。また国からの交付金を活用している事業であるため、委託・ 指定管理の導入は難しい。		
令和7年度の見直し 及び改善予定	児童・生徒の通学路危険箇所の解消を重点的に行ってきたが、未就学児や高齢の交通事故防止にもつながるよう施設整備を検討する。			
令和8年度以降の 方向性		日者の交通の安全を確保していくためには、交通安全施設の設置及び維持 続して実施する。		

5 一次評価(令和8年度以降の方向性に対する評価)

総合評価

継続(現状維持)

交通安全の推進と、交通事故の防止を達成する ため、有効な事業である。

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価

継続(現状維持)

・次評価と同様

令和7年9月3日

事業番号	732	担当課等	土木課				
事務事業名 交通安全対策推進事業							
予算科目コード	会計 1	款 2 項	1 目 8 事業開始年度				

## 1 事業概要(令和6年度)

総合計画との関係	基本	目標	政	策	分 野	主	要施策	細力	施 策
ゆがわら2021 プラン 前 期 基 本 計 画	照季彩と暮 和した安全 ちづくり	- らしが調	Ⅲ 安全·安心	の実現	1 交通安全	交通安 充実	(1) <del>*全</del> 対策の	③交通安全 進	全運動の推
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5シェンダー	6水•衛生	フェネルキー	8経済成長と雇用	9インフラ等
SDGSZの角建	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変重	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	交通安全 保を図る	交通安全運動並びに交通安全教育を推進し、町民及び観光客等の交通安全の確 保を図る。							
対 象	町民、観光客等								
内容	な交通安	町内の交通安全対策に関し、関係機関等との連携を図りながら、組織的かつ効果的な必要を対策を樹立計画するとともに、これを推進し交通事故の防止を図る。 交通安全関係団体に活動費等を助成する。							

	区分		令和5年度(決算)	令和6年	度(決算)	令和7年度(見込)		
	事業費		2,873,316		2,745,387		3,127,000	
	人	常勤職員	4,339,200		4,390,800		4,593,600	
<u>`</u>	件	会計年度任用職員等						
	費	人件費合計	4,339,200		4,390,800		4,593,600	
		総事業費	7,212,516		7,136,187		7,720,600	
		国庫支出金						
  財		県支出金						
源		地方債						
内	·	その他特定財源						
訳	一般財源		7,212,516	7,136,187		7,720,60		
	財源合計		7,212,516	7,136,187		7,720,60		
		活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値	
街	頭打	旨導及び街頭啓発	小田原交通安全協会湯河原支部	11 回	24	27	40	
			湯河原町交通安全母の会	回	23	23	28	
		成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値	
町	内の	交通人身事故件数(1~12月)	交通人身事故の減少	件	72	45	0	
					0	0	0	

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)					
必要性 町が実施する必要があるのか		警察、交通安全対策推進協議会、交通安全協会及 び交通安全母の会等と連携し、取り組む必要がある ため、町が主体で実施すべき事業である。			
効 率 性 投入した費用に見合った効果 が得られているか 類 似 性 他事業との類似はないか		交通安全対策推進協議会、交通安全協会及び母の 会の交通安全事業に対し、町から委託金等、支援を 実施している。費用対効果は高い。			
有 効 性 事業の目的に対して成果が得 られているか	3	年間を通じて交通安全の街頭指導や啓発活動、パトロールなどを行い、交通安全の推進と交通安全意識の高揚に努めており、一定の成果が得られている。			
公 平 性 事業の目的に対して受益の機 会が均等か	5	各団体が実施する交通安全に係る事業の対象は、 町民・観光客等であり、受益の機会は均等である。			
	•				

改

令和6年度までの│小田原警察署や関係機関の協力を得て、交通安全運動期間中の街頭啓発や高齢 自己評価または 者の交通事故を防止するための活動などを行い、交通安全に対する意識向上を図 る。

### 4 見直し及び改善

評価 4区分とその	里由を記え	入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)			
委託・指定管理 導入の可能性	3	警察、交通安全対策推進協議会、交通安全協会及び交通安全母の会等 と連携して取り組む必要があるため、委託・指定管理の導入は難しいと考 える。			
令和7年度の見直し 及び改善予定	交通事故を抑止するため、小田原警察署や関係機関と連携し、幼児から高齢者まで交通安全についての知識を身につけてもらうため、交通安全教室などの実施にいて検討する。				
令和8年度以降の 方向性		さの推進と交通安全意識の高揚を図り、交通事故の防止を達成するために も各団体と連携・協力をしながら事業を実施する。			

5 一次評価(令和8年度以降の方向性に対する評価)

総合評価

継続(現状維持)

交通安全の推進と、交通事故の防止を達成する ため、有効な事業である。

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価

継続(現状維持)

・次評価と同様

	事 業	番	号	370	9	担	当課	等					土オ	郷		
4	事務	事 業	名	道路新設	改良	事業	(幹絲	道	路の舗	装	、改良	.)				
Ť	5 算 科	目コ	ード	会計	1	款	7	項	2	目	2	事 業	開始	台年	度	

## 1 事業概要(令和6年度)

総合計画との関係	基本	目 標	政	策	分 野	主	要施策	細	施策	
ゆがわら2021 プラン 前 期 基 本 計 画	で 四季彩と暮 和した安全 ちづくり	らしが調	IV 交通ネット! の整備	フーク	1 道路整備	道路•፺	(1) 交通体系の	②道路の ⑥道路スト 管理の推済	ックの維持	
関連する個別計画	•湯河原	叮橋りょう	長寿命化	修繕計画	可・湯河原□	<b>丁トンネル</b>	⁄長寿命化	<b>修繕</b> 計画	町	
	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5シェンダー	6水•衛生	7エネルキー	8経済成長と雇用	9インフラ等	
SDGsとの関連	10不平等	〇 11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし	
		0								
目的					道路の新記 や耐震化を		を行ってい	く。また	、道路施	
対 象	対象町民及び道路利用			]者						
内容	道路新設	改良事業	き、橋梁・ト	ンネルに	まか補修及	び耐震事	業			

		区 分	令和5年度(決算)	令和6年	度(決算)	令和7年	令和7年度(見込)		
		事業費	96,262,760		99,134,182	12	24,600,000		
コス	人	常勤職員	2,892,800		2,927,200	3,062,400			
<u>`</u>	件	会計年度任用職員等							
	費	人件費合計	2,892,800		2,927,200		3,062,400		
		総事業費	99,155,560	1	02,061,382	127,662,400			
		国庫支出金	32,781,000		22,863,000	4	46,750,000		
  財		県支出金							
源		地方債	52,600,000		69,900,000	76,800,000			
内		その他特定財源							
訳		一般財源	13,774,560		9,298,382	4,112,400			
		財源合計	99,155,560	1	102,061,382		127,662,400		
		活動指標	指標設定の理由・考え方	页 単位	令和5年度	令和6年度	目標値		
工	事計	青負費	道路改良工事	千円	78764	93577	124600		
委託料			委託	千円	17498	5556	0		
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値		
工事箇所数			工事箇所数	箇所	箇所 11		10		
委	託領	<b></b> ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	委託箇所数	箇所	2	2	0		

- 1- 1-	11和0千度などの事業が研及び収音点						
評価	j 5	5段階	とその理由を記入(5:高い 4:	おから	高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必	要	性	町が実施する必要があるのか		道路施設は、公共性が高く、交通網の充実や安全 性確保のため町が実施するもの。		
	率似		投入した費用に見合った効果 が得られているか 他事業との類似はないか	4	道路整備により、道路利用者の利便性・安全性が向上し、効果が得られている。		
有	効	性	事業の目的に対して成果が得 られているか		国補助金(社会資本整備総合交付金)減により、事 業を縮小しなければならない場合がある。		
公	平	性	事業の目的に対して受益の機 会が均等か		町内全域が対象であるため、受益の機会は均等である。		

令和6年度までの 自己評価または 改善点	各計画に基づき、順次改修を行った。
----------------------------	-------------------

### 4 見直し及び改善

評価 4区分とその	理由を記え	入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)					
委託・指定管理 導入の可能性	9 改修が必要な箇所について、引き続き実施していく。						
令和7年度の見直し 及び改善予定	点検・調査に基づき、計画を策定・修正を行いながら改修を実施する。						
令和8年度以降の 方向性	交通網の充実を図るため、計画的に道路の新設や改良を行っていく。また、道路設(橋梁・トンネルほか)の長寿命化を各計画に基づき実施する。						

5 一次評価(令和8年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価 継続(現状維持) 安全確保の観点からも、計画的に道路ストックの 新設や改良を行っていくこと。
--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価 継続(現状維持) 一次評価と同様

令和7年9月3日

事業番号	3614	担当課等		土木課	
事務事業名	地籍調査事業				
予算科目コード	会計 1	款 7 項	1 🗐 1	事業開始年度	平成20年度

## 1 事業概要(令和6年度)

総合計画との関係	基本	目標	政	策	分 野	主	要施 策	細が	施 策
ゆがわら2021 プラン 前 期 基 本 計 画	で 四季彩と暮 和した安全 ちづくり	らしが調	IV 交通ネット! の整備	フーク i	1 道路整備	道路•3 整備	(1) 交通体系の	⑦地籍調金	全の推進
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育 13気候変動	5シェンダー	6水·衛生 15陸上資源		8経済成長と雇用 17実行手段	9インフラ等 O 該当なし
		0							
目的			ち止や公共 骨化を図る		計画策定、	地震など	の自然災	害時にお	おけるライ
対 象	  町内土地 	亦有者							
内容	国土調査	法に基っ	ざき町が主	:体となっ	て行う地籍	に関する	調査		

		区 分	令和5年度(決算)	令和6年	度(決算)	令和7年度(見込)			
		事業費	10,896,760		10,662,542	]	12,196,000		
	人	常勤職員	5,785,600		5,854,400	6,124,800			
<u>`</u>	件	会計年度任用職員等							
	費	人件費合計	5,785,600		5,854,400		6,124,800		
		総事業費	16,682,360		16,516,942	18,320,800			
		国庫支出金							
  財		県支出金	6,780,000		6,732,000		7,608,000		
源		地方債							
内		その他特定財源							
訳		一般財源	9,902,360		9,784,942	10,712,800			
		財源合計	16,682,360	16,682,360 16,516,942			18,320,800		
		活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値		
地	籍訓	周查委託費	地籍調査委託	千円	9493	9339	9645		
					0	0	0		
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値		
地	籍訓	周査面積	地籍調査実施面積	km²	0.05	0.05	0		
					0	0	0		

/-							
評品	Щ	5段階	さんその埋由を記入(5:高い 4:	ややる	高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必	要	性	町が実施する必要があるのか		国土調査法に基づき町が主体となって行うべき地籍 に関する調査事業である。		
	率似		投入した費用に見合った効果 が得られているか 他事業との類似はないか		個人が行う土地取引や登記手続きの簡素化・費用 削減につながっている。		
有	効	性	事業の目的に対して成果が得 られているか		個人が行う土地取引や登記手続きの簡素化・費用 削減につながっている。		
公	平	性	事業の目的に対して受益の機 会が均等か	l J	毎年調査区域を決め事業を推進しており、調査区域 内において、受益の機会は均等と思われるが、町全 体でとらえた場合、ばらつきがある。		

令和6年度までの 自己評価または 改善点

県が大規模災害の備えとして津波浸水想定図をもとに「緊急重点地域」と定めた相 模湾沿岸地区及び土砂災害警戒区域を含む地区において調査を実施した。

#### 4 見直し及び改善

評価 4区分とその3	理由を記え	入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)					
委託・指定管理 導入の可能性	9 調査について、引き続き委託していく。						
令和7年度の見直し 及び改善予定		国土調査法第10条第2項の規定に基づき、包括的に地籍調査の実施を民間事業者 に委託し、職員の負担の軽減や業務の効率化を図る。					
令和8年度以降の 方向性	年次計画に基づき事業を実施していく。						

5 一次評価(令和8年度以降の方向性に対する評価)

総合評価

継続(現状維持)

配置人員等から実施規模は妥当であると考え、 引き続き年次計画に基づき事業を実施する。

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価

継続(現状維持)

-次評価と同様

事業	番	号	367	5	担	当課	等	土木課				
事 務	事務事業名 道路占用掘削跡舗装復旧事業											
予算和	∤目⊐	ード	会計	1	款	7	項	2	目	1	事業開始年度	

## 1 事業概要(令和6年度)

総合計画との関係	基本	目標	政	策	分 野	主	要施 策	細が	拖 策
ゆがわら2021 プラン 前 期 基 本 計 画	芸 四季彩と暮 和した安全 ちづくり	らしが調	IV 交通ネット! の整備	フーク ゴ	1 道路整備	道路•፺整備	(1) 交通体系の	⑥道路スト 管理の推進	ックの維持 生
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水•衛生	7エネルキ゛ー	8経済成長と雇用	9インフラ等 〇
SDGSCV/ 国建	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	道路占用 町が実施		削跡の本	復旧につ	いて、舗装	麦の機能	を良好な物	犬態に保っ	つため、
対象占用者及び道路利用者									
内容	道路占用	掘削跡舗	載復旧コ	_事					

区 分		区 分	令和5年度(決算)	令和6年	度(決算)	令和7年度(見込)		
	事業費		5,868,099		5,535,063	4,000,000		
	人	常勤職員	2,892,800		2,927,000		2,296,800	
<u>`</u>	人  件   会計年度任用職員等							
	費	人件費合計	2,892,800		2,927,000		2,296,800	
		総事業費	8,760,899		8,462,063		6,296,800	
		国庫支出金						
  財	<b>県支出金</b>							
源	`							
内		その他特定財源	6,000,000	6,000,000			4,000,000	
訳		一般財源	2,760,899		2,927,000		2,296,800	
		財源合計	8,760,899		8,462,063		6,296,800	
		活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値	
舖	装包	复旧箇所数	復旧箇所数	箇所	21	31	30	
					0	0	0	
成果指標		成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	単位 令和5年度		目標値	
舖	装包	复旧面積	復旧面積	m²	m² 267		150	
					0	0	0	

評估	評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)							
必	要	性	町が実施する必要があるのか	5	湯河原町道路占用等規則第12条の規定により、道 路占用に伴う掘削跡の本復旧は町で行うとしてい る。			
効類	率似		投入した費用に見合った効果 が得られているか 他事業との類似はないか		当事業の財源は、占用者が負担した路面復旧費を 充当している。			
有	効	性	事業の目的に対して成果が得 られているか		占用者が実施した占用工事箇所の状態を確認し、 本復旧工事を実施。			
公	平	性	事業の目的に対して受益の機 会が均等か		事業の対象箇所である道路占用の本復旧箇所の舗 装の機能や品質が保持できる。			

令和6 自己記	年度	までの
自己部	平価:	または
改	善	点

仮復旧状況を確認しながら、本復旧を行う。

### 4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)								
委託・指定管理 導入の可能性	3 道路は町の重要な社会インフラ施設であり、占用復旧工事といえども は適当ではない。							
		•						
令和7年度の見直し 及び改善予定		「道路占用等規則の改定を行い、令和7年度より道路占用に伴う掘削跡の は占用者および申請者が行うことを原則とした。						
令和8年度以降の 方向性	規則改定	どに伴い、引き続き適切な道路占用許可事務に務める。						

5 一次評価(令和8年度以降の方向性に対する評価)

総合評価

継続(現状維持)

規則改定に伴い、占用者および申請者による本 復旧を原則としたことから、今まで以上に申請書 類や完了後の現場の仕上がり等の確認を徹底す ること。

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

- 1			

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価

継続(現状維持)

一次評価と同様

事業番号	3698	担当課等	生木課				
事務事業名	道路改修事業						
予算科目コード	会計 1	款 7 項	2 目 1	事業開始年度			

## 1 事業概要(令和6年度)

総合計画との関係	基本	目標	政	策	分 野	主要	更施 策	細が	拖 策
ゆがわら2021 プラン 前 期 基 本 計 画	で 四季彩と暮 和した安全 ちづくり	} らしが調 ・安心のま	IV 交通ネット! の整備	フーク	1 道路整備	道路•3 整備	(1) 交通体系の	⑥道路スト 管理の推進	ックの維持 生
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓 〇 11都市 〇	3保健 12生産と消費	4教育 13気候変動		6水·衛生 15陸上資源	7エネルキ゛ー 16平和	8経済成長と雇用 17実行手段	9インフラ等 O 該当なし
目的		□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□							
対 象	町民及び	で道路利用	月者						
内容	大規模な	維持修綿	<b>学工事</b>						

	区 分		令和5年度(決算)	令和6年	度(決算)	令和7年度(見込)		
	事業費		4,829,000		6,122,600	10,000,000		
コス	人	常勤職員	2,892,800		2,927,200	3,062,400		
<u>`</u>	`│件│ 会計年度任用職員等							
	費	人件費合計	2,892,800		2,927,200		3,062,400	
		総事業費	7,721,800		9,049,800		13,062,400	
		国庫支出金						
  財	<sub>財</sub> 県支出金							
源					3,800,000	9,000,000		
内								
訳		一般財源	7,721,800		5,249,800		4,062,400	
		財源合計	7,721,800		9,049,800		13,062,400	
		活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値	
工	事計	<b>青負費</b>	道路改修工事	千円	4789	3939	10000	
委託料		<u></u>	委託	千円	0	2183	0	
成果指標		成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値	
工	事領	<b></b>	道路工事	箇所	箇所 3		3	
委	託領	<b></b>	委託業務	箇所	0	1	0	

<u> </u>	140年度よどの事業分析及び収音点						
評価 5段階	皆とその理由を記入(5:高い 4:	かかず	高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)				
必要性	町が実施する必要があるのか	5	道路法第42条において、道路管理者が「道路の維持修繕を実施し、交通に影響がないように努めなければならない」としている。				
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果 が得られているか 他事業との類似はないか		改修工事を実施することにより、道路利用者等の利 便性・安全性の向上が図られる。				
有効性	事業の目的に対して成果が得 られているか		改修工事を実施することにより、道路利用者等の利 便性・安全性の向上が図られる。				
公平性	事業の目的に対して受益の機 会が均等か	4	町内全域が対象であるため、受益の機会は均等で ある。				

令和6年度までの 自己評価または 改善点	道路の状態により危険性の高いものから順次改修を行った。
----------------------------	-----------------------------

### 4 見直し及び改善

評価 4区分とその <u>理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)</u>				
委託・指定管理 導入の可能性	9	改修が必要な箇所について、引き続き実施していく。		
令和7年度の見直し 及び改善予定	改修の必要な箇所を再調査し、計画的な改修を行う。			
令和8年度以降の 方向性	道路の良好な状態を保つため、定期的に点検を行い、改修計画を立案し、改修工 事を行っていく。			

5 一次評価(令和8年度以降の方向性に対する評価)

|--|

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	一次評価と同様
------	----------	---------